
平成27年度

熊本県博物館ネットワークセンター活動報告書

熊本県博物館ネットワークセンター

熊本地震により被災されたすべての方々に対し、お見舞い申し上げます。

さて、博物館ネットワークセンターは、平成27年4月の設置以来、県内の博物館や資料館の連携を軸とした博物館活動の活性化を目指し、「熊本県総合博物館ネットワーク行動計画」に沿って、「県内博物館等による共同企画展」の開催、県内博物館等で共有可能な「資料データベース」の構築・運用等、様々な取組みを進めて参りました。

ただ、今回の地震により、当センターも建物が損傷するなど被害を受けたため、4月以降休館をしておりますが、現在は自然観察会等、館外で実施可能な事業を中心に活動を一部再開したところです。

また、被災した県内文化財の救援を行うため、県教育委員会や県博物館連絡協議会等と一体となって文化財レスキュー事業に新たに取り組むなど、引き続き県内の博物館等と共に文化財の継承・保全や活動活性化を進めて参りたいと考えておりますので、御支援、御協力をいただきますよう改めてお願い申し上げます。

平成28年9月15日
熊本県博物館ネットワークセンター
所 長 松尾 伸吾

目 次

1 展示

- (1) 熊本県総合博物館ネットワークオープニング記念行事共同企画展
「再発見！くまもとの博物館」 3
- (2) 共催展示 5
- (3) 企画展示 6
- (4) 移動展示 12
- (5) 博物館ネットワークセンター通路展示 14

2 情報発信

- (1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト 16
- (2) 出版物 16

3 研修

- (1) 総合プロデューサー育成研修 17
- (2) スキルアップ研修 17

4 学習支援

- (1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 19
- (2) 熊本を知る講座 21
- (3) キッズミュージアム 24
- (4) 移動体験教室・講師派遣 25
- (5) 団体利用 26
- (6) 博物館実習・職場体験 27
- (7) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナー制度 28
- (8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ 28
- (9) 学校移動展示用パッケージ作成 30

5 資料収集整理

- (1) 熊本県博物館資料データベース事業 31
- (2) 熊本県学芸員等人材データベース事業 32
- (3) 資料収集・整理状況 33

6 その他

- (1) 平成 27 年度職員一覧 39
- (1) 熊本県博物館ネットワークセンター条例 40
- (2) 施設平面図 44

注) 太文字の事業は、県内博物館等との連携強化に向けて相互に協力して実施した事業

1 展示活動

(1) 熊本県総合博物館ネットワークオープニング記念行事

共同企画展「再発見！くまもとの博物館」

会 場 県立美術館別館

開催期間 平成27年10月3日～11月5日

主 催 熊本県

後 援 熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県博物館連絡協議会

助 成 一般財団法人地域創造

展示趣旨 熊本県博物館ネットワークセンターの本格オープン及び「熊本県総合博物館ネットワーク構想」の始動を記念する行事として、県内各地の博物館が参加する共同企画展及び関連企画を実施。

観覧者数 1,233人

参加館

	館名		館名
1	熊本県伝統工芸館	32	和水町歴史民俗資料館
2	熊本県立美術館	33	清浦記念館
3	熊本市くまもと工芸会館	34	熊本県立装飾古墳館
4	熊本国際民芸館	35	山鹿市立博物館
5	熊本市現代美術館	36	山鹿灯籠民芸館
6	熊本市塚原歴史民俗資料館	37	歴史公園鞠智城 温故創生館
7	熊本市立熊本博物館	38	菊池神社歴史館
8	熊本大学五高記念館	39	合志市合志歴史資料館
9	くまもと文学・歴史館	40	合志市西合志郷土資料館
10	熊本洋学校教師ジェーンズ邸	41	国立療養所菊池恵楓園社会交流館
11	小泉八雲熊本旧居	42	阿蘇火山博物館
12	後藤是山記念館	43	坂本善三美術館
13	島田美術館	44	南阿蘇ルナ天文台
14	新聞博物館	45	東陽石匠館
15	神風連資料館	46	八代市立博物館未来の森ミュージアム
16	徳富記念館	47	水俣市立蘇峰記念館
17	夏目漱石内坪井旧居	48	水俣市立水俣病資料館
18	肥後の里山ギャラリー	49	芦北町立星野富弘美術館
19	本妙寺宝物館	50	つなぎ美術館
20	御馬下の角小屋	51	湯前まんが美術館
21	横井小楠記念館	52	山江村歴史民俗資料館
22	リデル、ライト両女史記念館	53	天草市立天草クリスタン館
23	宇城市不知火美術館	54	天草市立天草コレジヨ館
24	熊本県博物館ネットワークセンター	55	天草市立天草文化交流館
25	御船町恐竜博物館	56	天草市立天草ロザリオ館
26	松前重義記念館	57	天草市立五和歴史民俗資料館
27	犬飼記念美術館	58	天草市立御所浦白亜紀資料館
28	四賢婦人記念館	59	天草市立本渡歴史民俗資料館
29	清和文楽館	60	うぶか海彩館資料展示室
30	荒尾市宮崎兄弟資料館(生家)	61	かくれクリスタン民俗資料館サンタマリア館
31	玉名市立歴史博物館ころもピア	62	苓北町歴史資料館



展示構成 会場を大きく県央、県東、県西、県南及び県北の5地域に分け、各地域の博物館ごとに展示。

関連企画 次の4つを開催。

①わくわくミュージアム体験教室

県内各地の博物館学芸員の指導により「化石レプリカを作ろう」等の体験学習を7回開催。

月日	10時～11時30分	参加者数	14時～15時30分	参加者数
10月 11日	どんぐりクラフト 熊本県博物館ネットワークセンター	12名		
18日	竹トンボを作ろう 熊本県伝統工芸館	7名	土器に紋様を描いてみよう 熊本市塚原歴史民俗資料館	8名
25日	巴形銅器を作ろう 山鹿市立博物館	5名	コイルモーターを作って回そう 熊本市立熊本博物館	8名
11月 1日	手持ち灯りを作ろう 山鹿灯籠民芸館	10名	化石レプリカを作ろう 天草市立御所浦白亜紀資料館	12名

②webでつながる博物館

県内外の博物館と会場とをインターネットで繋ぎ、博物館学芸員による館と資料の解説会を4回開催。



開催日時	登場する博物館	内容	参加者数
10月10日（土） 14:00～14:40	天草市立御所浦白亜紀資料館	全島博物館恐竜の島で化石発掘	22名
10月17日（土） 14:00～14:40	九州大学総合研究博物館	さまざまなアンモナイト	18名
10月24日（土） 14:00～14:40	中川町エコミュージアムセンター	首長竜とその時代の化石	20名
10月31日（土） 14:00～14:40	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	茨城県の自然と湖の生き物	25名

③博物館訪問

家族単位による博物館訪問。6つの館で館や資料をレポートし、情報誌（くまにちすばいす、FM791子ども新聞）に掲載。併せて今回の企画展の紹介も掲載。

④大学生による資料解説

熊本大学で学芸員養成過程を受講している大学生（延べ22名）による資料解説を土日祝日に8回開催。

（2）共催展示

地質の日くまもと

会場 御船町恐竜博物館
開催期間 4月11日～5月31日
主催 地質の日くまもと実行委員会
共催 熊本大学理学部・工学部・阿蘇火山博物館・熊本市立熊本博物館・御船町恐竜博物館・御所浦白亜紀資料館・熊本県地質業協会・菊池川自然塾・水と緑の愛護基金・熊本県博物館ネットワークセンター

観覧者数 2,749人

展示概要 熊本の恐竜が出現するより古い時代の地層から、恐竜時代の化石、恐竜がほろんだあとの地層まで様々な時代の地層から産出した化石、阿蘇をはじめとする火山関係資料、地震など自然災害に対する防災などの資料など地質に関する様々なものを各館共同で展示。博物館ネットワークセンターは、学校移動展示用パッケージを展示。

担当 川路芳弘、廣田志乃



(3) 企画展示

① フィールドサインを見つけにいこう

開催期間 平成27年3月20日～6月21日

観覧者数 343人(4月1日～6月21日)

展示点数 186点

担 当 天野守哉、小原舞

(展示趣旨)

野山を歩くと生き物たちが残した様々な痕跡が見つかる。しかしながらその多くは見過ごされる場合が多い。そのような痕跡を丁寧に見つけていくと、今まで知らなかった生き物たちの様子が見えてくる。本展示では、野山に残された痕跡に「気づき」、痕跡や周囲の環境をよく「観察」して情報を集め、ここに生息している生き物たちがそこで何をしていたのか「想像」することの面白さを紹介。

(展示構成と主な展示資料)

1 フィールドサインってなあに？

フィールドサインの定義とその種類(食痕、フン、足跡など)について解説。

2 食べる

どんな生き物が、何を、どうやって食べるのか。食べ物に残された食痕を紹介。また、ニホンジカなどの頭骨標本を展示し、食物を食べるために特化した歯を観察。

＜主な展示資料＞

アカネズミ・ムササビ・鳥等の剥製、シカの頭骨、昆虫標本等

3 フンをする

誰が、どんなフンを、どこでするのか。かたちに注目してそれぞれのフンの特徴をクイズも交えて解説する。フンの状態(ためフンなど)から分かるその生き物の習性にも着目。また、動物による種子散布など、森林生態系におけるフンの役割についても紹介。

＜主な展示資料＞

哺乳類のフンの乾燥標本等

4 移動する

どこで(水辺、林道、山奥の雪の上)、どんな足跡が(外形、大きさ、指の数、爪跡の有無)、どんな歩き方で(一直線、ジグザグ、跳躍)残っていたのか、いろんな角度から足跡を解説。

＜主な展示資料＞

哺乳類の剥製と足跡の写真等

5 すむ

どんな場所にどんな生き物がどんな巣をつくって暮らしているのか。巣をつくる場所や環境に着目し、生き物の生活を紹介。

＜主な展示資料＞

哺乳類と鳥類の巣等

6 これはなあに？

イノシシの泥浴びの痕跡や、シカが角を研いだ痕跡など、その生き物特有のフィールドサインを紹介。また、ヘビの抜け殻や鳥の羽など、生き物が残したものに幅広く注目して紹介。

＜主な展示資料＞

ヘビの抜け殻と昆虫の抜け殻等

平成26年度 熊本県松橋収蔵庫第6回企画展

フィールドサインを見つけにいこう



♪入場無料♪

期間：平成27年3月20日(金)～6月21日(日)

3月中は午前10時～午後5時 日曜・祝日休館
【4月以降は午前9時～午後5時 月曜休館】
【5月4日(月)は開館、5月7日(木)は閉館】

場所：熊本県松橋収蔵庫
(4月より熊本県博物館ネットワークセンターと改称)
〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1695
TEL 0964-34-3301 FAX 0964-34-3302
<http://www.pref.kumamoto.jp/site/shuuzouko/>



7 いざ！フィールドサインを見つけにいこう

野外での服装やマナー、危険生物など、楽しく野外観察をするための心得を解説。また、調査で使用する道具を展示し、野外調査に興味をもってもらおう。

＜主な展示資料＞

自動撮影カメラ、小型哺乳類捕獲用の罠、ポイズンリムーバー等

関連企画

野外観察会「フィールドサインを探そう！フィールドビンゴin雁回山」（4月25日、10人）

野外観察会「フィールドサインを探そう！フィールドビンゴin南阿蘇野草園」（5月9日、10人）

②火山と防災

開催期間 平成27年7月1日～9月6日

共 催 公益財団法人阿蘇火山博物館

後 援 国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター

観覧者数 772人

展示点数 134点（うち借用標本 37点）

担 当 川路芳弘 廣田志乃

（展示趣旨）

日本で常時観測を行っている活火山及び九州の活火山について、火山の仕組みや活動を科学的に解説。さらに、火山と人との共生を、火山周辺地域の防災活動をとおして紹介。

（展示構成と主な展示資料）

1 火山噴火のしくみ

火山がどのような仕組みで噴火するかを、模式図を用いてパネル解説。

＜主な展示資料＞

雲仙普賢岳、桜島、阿蘇、三原山の立体模型

2 火山の噴火形式・火山用語の解説

噴出する溶岩の性質によって、噴火の形式や火山の形が決まってくることを、火山灰の展示と火山の写真を用いて解説。

＜主な展示資料＞

重力流観察装置、御獄山や桜島、雲仙などの火山灰

3 本州の常時観測火山

本州の常時観測火山を、溶岩・火山弾・軽石・火山灰・溶結凝灰岩・鉱物などの標本とともに、火山災害記録や火山写真を用いて説明。

＜主な展示資料＞

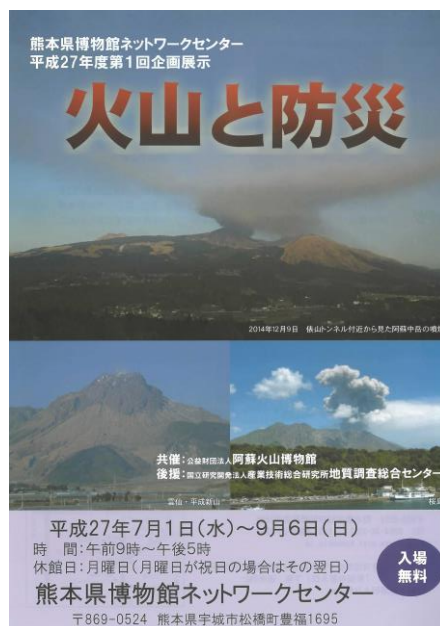
本州の常時観測火山の溶岩や火山灰等の噴出物

4 九州の活火山

九州の常時観測火山を、溶岩・火山弾・軽石・火山灰・溶結凝灰岩・鉱物などの標本とともに、火山災害記録や火山写真を用いて説明。

＜主な展示資料＞

ハザードマップ、雲仙火山噴出物のはぎ取り標本、定点採取した阿蘇中岳の火山灰、溶岩・火山弾・軽石・火山灰・溶結凝灰岩・鉱物など



5 防災について

火山防災について、防災グッズ等を展示し対処方法について解説。

<主な展示資料>

ヘルメット、ゴーグル、非常持ち出し袋など

6 火山噴火観測・予知について

火山噴火の観測や予知の方法などをパネルを用いて解説。

7 火山に関連した展示

ハザードマップや、火山防災関連のパンフを展示し、防災意識を高めてもらう展示。

関連企画

なるほど地学実験室～身近なもので火山を学ぼう～（8月22日、8人）

火山の噴火実験（コーラを使用）、火山灰の噴出実験（麩を使用）、

土石流発生実験（スポンジとココアを使用）、溶岩の流れ方実験（小麦粉を使用）

③ちょっと昔のくらし探検Ⅶ

開催期間 平成27年10月1日～11月29日

後援 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会

観覧者数 843人

展示点数 125点

担当 國本信夫、迫田久美子



熊本県歴史館 阿蘇郡南小国町 1973 白石撮影

（展示趣旨）

昭和30年代後半から40年代にかけて、高度経済成長の下、機械化、電化、石油を中心とした化学製品の普及により日々の暮らしは激変した。これほどの日々の暮らしの急変は日本人がこれまで経験したことがないものであった。昭和30年代後半から40年代まで普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から、小学校3・4年生社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の単元に対応した道具を中心に紹介し、暮らしの変化を実感することを目指した。

（展示構成と主な展示資料）

1 台所今昔

水道、家電製品、ガス製品の普及で台所の様子は一変した。今では簡単にできることでも昔は大変な労力が必要だった。ご飯を炊くにも^{かまど}竈に火を熾し、^{おこ}火加減を見ながら炊かなければならなかった。そんな時代の食生活に関わる道具と使い方を紹介。

<主な展示資料>

羽釜、火吹き竹、電気釜、飯びつ、箱膳、ちゃぶ台、豆腐箱、醤油瓶

2 より明るく、暖かく

オール電化の住宅では日常炎を見ることは稀であろう。そうでなくてもスイッチ一つで明るくなり、温度が調節できるのは当たり前である。しかし、昔は部屋を明るくするにも暖かくするにも火を燃やさなければならなかった。そんな時代の明かりと暖房の器具を紹介。

平成27年度第3回企画展

ちょっと昔のくらし探検Ⅶ

2015.10.01～11.29 09:00～17:00

熊本県博物館ネットワークセンター
宇城市松橋町豊福1695 Phone0964-34-3301

※月曜日休館（月曜日が祝日の場合はその翌日が休館日となります。）



＜主な展示資料＞

燭台、行灯、提灯、ランプ、電灯、火鉢、炬燵、湯たんぽ、電気行火

3 洗濯と裁縫

今では水道の蛇口を開けば水が出るというのは当たり前であるが、水道が普及する以前の水仕事は大変であった。井戸で水を汲み^{たらい} 盥で洗濯をした時代の洗濯と衣類に関する道具を紹介。

＜主な展示資料＞

井戸の滑車、洗濯機、炭火アイロン、足踏ミシン、^く 絞け台、仕事着、ドンザ

4 田畑で働く

昭和 30 年代後半から農業の機械化が進められ、農機具も激変した。弥生時代に稲作道具が伝えられて以来、工夫を重ねられ、改良されてきた機械化以前の農機具を紹介する。

＜主な展示資料＞

^{からすき} 鋤、犁、田下駄、田植綱、ガンズメ、千歯扱き、足踏み脱穀機、箕、唐箕

5 山で働く

戦後の拡大造林期を経て、山は景観も代わり、仕事内容も機械の導入で大きく変わった。人の力で木を切り、板を切り出していた時代の山の道具を紹介する。

＜主な展示資料＞

山鋸、大鋸、切り斧、ハツリ斧、造林鎌、皮剥、^{かん} 鳶口、鑢、万力爪

6 海・川で働く

漁業も機械化、大型化で大きく変わった。沿岸漁業は衰退し、獲る漁業から栽培する漁業への転換が図られている。以前の海漁、川漁の道具を紹介。

＜主な展示資料＞

餌木、擬餌鉤、蛸壺、魚伏籠、魚籠、鰻釜、鰻搔、鋤簾、やす

7 昔の小学校

学校で使う道具もずいぶんと変わってきている。教科書や学用品の移り変わりを紹介する。

＜主な展示資料＞

小学読本、尋常小学修身書、石版、謄写版、足踏みオルガン

特記事項

学校団体見学 7校8回

（見学時には展示説明のほか、体験学習として天秤棒による水運び、洗濯板による洗濯、^{ひ の し} 火熨斗によるアイロンがけ、きな粉作りなどを実施）

④雁回山の植物巡り

開催期間 平成27年12月12日～平成28年3月6日

共 催 ミュージアムパートナズクラブ雁回山の植物を観る会

観覧者数 299人

展示点数 117点

担 当 稲葉一文、前田哲弥



(展示趣旨)

雁回山は、熊本市と宇土市、宇城市の境に位置する標高300m程の低山である。周囲を水田や畑などの耕作地と住宅地に囲まれているがシイ・カシ林が生い茂り、多様な動植物が生活している。

このように雁回山は、手軽に自然に触れあえるフィールドであるため、博物館ネットワークセンターでも、「くまもと自然と文化の学芸員養成講座」や「フィールドミュージアムへ飛びだそう！」など幾度となく現地観察会等を行ってきた。

本企画展示「雁回山、植物巡り」は、当センターを活動の拠点としているミュージアムパートナーズクラブ「雁回山の植物を観る会」との共同企画で、雁回山のハイキングコースで見られる身近な植物や特殊な植物を標本や写真で紹介し、自然への興味と関心を誘うことを目的とした。

(展示構成と主な展示資料)

1 はじめに「雁回山とは」

雁回山の概略を解説し、展示理解への準備とした。

展示のいきさつ。雁回山の位置や地形の紹介。雁回山の遊歩道および本展示で紹介する部分を解説した。また、展示で使われる記号などを説明した。

2 植物巡りルート解説

雁回山の植物観察に適した遊歩道（植物巡りルート）を3本設定し、それぞれのルートの案内、およびそこで見られる植物を紹介した。

①ルート1 宇土コース→如来寺コース

雁回山南斜面にあるこのコースは急坂であるが、春にはハルゼミが鳴き花もみられるなど、春や秋など季候の良い季節に適したコースである。季節を春に絞り、個々で出会える植物を紹介した。

②ルート2 富合コース

雁回山の北斜面には六殿宮や木原不動尊もあり、正面ともいえる。ここから伸びる富合コースは、大きな谷にそって続いており、湿潤な環境では多くのシダ植物をはじめとした多様な植物を観ることができる。多くの植物に出会えるメインルートとして紹介。

③ルート3 手軽にちょい歩きコース

北斜面には頂上までつづく富合コースの他に、中腹付近に数多くの遊歩道が整備されている。これらは起伏も比較的少なく、短時間で巡ることもできる。これらのコースを組み合わせ3コースを設定し、手軽な巡りコースとして紹介。

<主な展示資料>

ナンゴクウラシマソウ、トラノオスズカケ、クルマシダ、ヒトツバイワヒトデ、ウラジロ、サツマイナモリ

3 こんな植物に注目してみよう

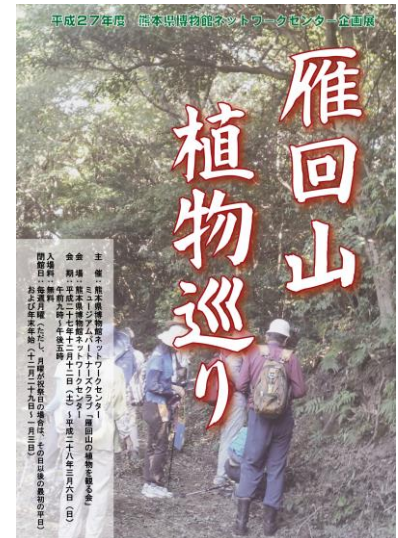
植物に親しむきっかけとなるような植物を紹介し、雁回山の自然への興味や理解を促した。

①雁回山の森を形作る樹木を紹介。高木層はブナ科クスノキ科等、低木層は低く観察しやすい木。

②よく見られるシダを紹介。

③食べられる植物を紹介。

④雁回山の腐生植物を紹介。



<主な展示資料>

シリブカガシ、オニツツジ、オオバノハチジョウシダ、オオカグマ、ヒロードイチゴ、シャシャンボ、ホンゴウソウ、シロシャクジョウ

4 県民参加の博物館活動って？

「雁回山の植物を観る会」の活動とその成果を紹介。

- ①教育普及活動全般の説明
- ②ミュージアムパートナー制度、パートナーズクラブの制度の紹介。
- ③「雁回山の植物を観る会」の活動の概要や成果。
- ④植物の観察や標本製作の仕方。
- ⑤その他のミュージアムパートナーズクラブの活動紹介とお誘い。

<主な展示資料>

植物標本作成道具、調査記録用紙など

5 まとめ

終わりのメッセージ

- ①展示のまとめ（雁回山の自然について）。
- ②「雁回山の植物を観る会」から展示を見た方へのメッセージ。
- ③熊本県博物館ネットワークセンターからのおわりのことば。

⑤絵葉書ものがたり

開催期間 平成27年3月19日～平成28年6月19日（平成28年熊本地震の影響により4月15日から中止）

協力 熊本県文化企画・世界遺産推進課

観覧者数 378人（～4月14日）

展示点数 226点

担当 田中孝行、松本晃世、堤将太

（展示趣旨）

明治後期に発行が始まった絵葉書は、明治37・38年（1904・1905）の日露戦争期に爆発的に流行し、イベント・行事の記念絵葉書、ニュースを伝えた絵葉書、風景を写した絵葉書など、さまざまなものが発行された。

絵葉書は書簡としての役割とともに、カメラが一般に普及する以前には、人々にとって視覚的な画像情報を得る、または伝えることができる貴重な媒体としての役割を担った。絵葉書に印刷された図柄や写真からは、当時の社会や文化を読み取ることができ、現在の私たちにとって貴重な歴史資料となる。

本展示では、当センターが所蔵する明治・大正・昭和の絵葉書を展示し、歴史資料としての絵葉書、絵葉書を通した近代熊本の出来事や風景に注目し紹介。

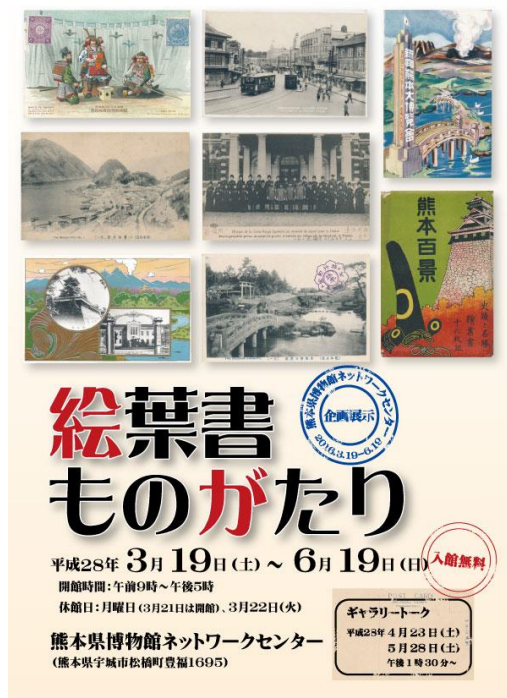
（展示構成と主な展示資料）

1 絵葉書いろいろ

絵葉書ブームのはじまりから、明治・大正・昭和に発行されたさまざまな絵葉書を、出来事、風景など内容を分けて紹介する。行事などの記念絵葉書、ニュースを題材とした絵葉書、名所・旧跡や人々の生活の風景を写した絵葉書、戦争関係の絵葉書などを展示。

<主な展示資料>

明治三十七八年戦役陸軍凱旋観兵式記念絵葉書、伊豆 大震災の実況絵葉書、日本南極探検隊土産



南極圏実景 写真絵葉書（第一集）、岐阜長良川鵜飼、国立公園日光の景勝、日本風俗絵葉書、少年倶楽部絵はがき

2 絵葉書にみる近代熊本

熊本に関する絵葉書を展示し、絵葉書にみる近代熊本の出来事や風景を紹介する。行事などの記念に作成された絵葉書から出来事を、また、名所・旧跡などの風景を写した絵葉書から、明治から昭和の風景を紹介。

<主な展示資料>

明治三十五年陸軍特別大演習記念絵葉書、昭和六年十一月陸軍特別大演習記念絵葉書、新興熊本大博覧会記念絵葉書、陸軍特別大演習記念熊本名勝絵葉書、熊本百景 史跡と名勝絵葉書、（熊本百景）三角港全景〔其一〕



3 絵葉書の利用

当時の人々の絵葉書の利用について紹介する。書簡として用いられた絵葉書、コレクションとして収集された絵葉書、記念スタンプの押された絵葉書を展示し、画像情報を伝えるために用いられた絵葉書の役割、絵葉書の収集や交換が身近に行われたことを示した。

<主な展示資料>

書簡（絵葉書「新興熊本大博覧会 正門」）、仏国派遣救護班活動絵葉書、軍事郵便、絵葉書帳

（４）移動展示

① フィールドサインを見つけにいこう

会場等 県民交流館パレアアクシア
開催期間 平成27年10月30日～11月29日
観覧者数 2,500人
展示点数 47点
展示概要 企画展示「フィールドサインを見つけにいこう」を、内容を哺乳類にしぼって再構成して展示。
担当 天野守哉、小原舞



② 火山と地震

会場等 熊本県立第一高等学校
開催期間 平成27年9月19日
観覧者数 220人
展示点数 91点
展示概要 様々な火成岩を展示し、岩石の種類と火山の噴火が関連することを伝える展示。地震被害の写真や、震源の立体地図などを用い、地震発生のメカニズムを知り、防災に対する意識を高める展示。
担当 川路芳弘 廣田志乃

③ ふしぎな鉱物の世界

会場等 熊本県立熊本高等学校（9月18日～19日、500人）
 熊本県立河浦高等学校（11月17日、57人）
展示点数 149点
展示概要 高等学校で習う元素を含んだ鉱物、鉄及び非鉄金属を含む鉱物、結晶がきれいな鉱物、紫外線を当てると光る鉱物など鉱物を身近に感じてもらう展示。
担当 川路芳弘 廣田志乃

④火山と化石

会場等 熊本県立熊本聾学校
開催期間 平成27年11月1日
観覧者数 200人
展示点数 58点
展示概要 古生代から新生代までの示準化石と、主な示相化石を用いて地層ができた時代や当時の環境を知る展示。
 様々な火成岩を展示し、岩石の種類と火山の噴火が関連することを伝える展示。
担当 川路芳弘 廣田志乃

⑤火山

会場等 東海大学阿蘇キャンパス
開催期間 平成28年2月6日～7日
観覧者数 600人
展示点数 24点
展示概要 九州高等学校生徒理科研究発表大会会場での展示
 様々な火成岩を展示し、岩石の種類と火山の噴火が関連することを伝える展示。
担当 川路芳弘

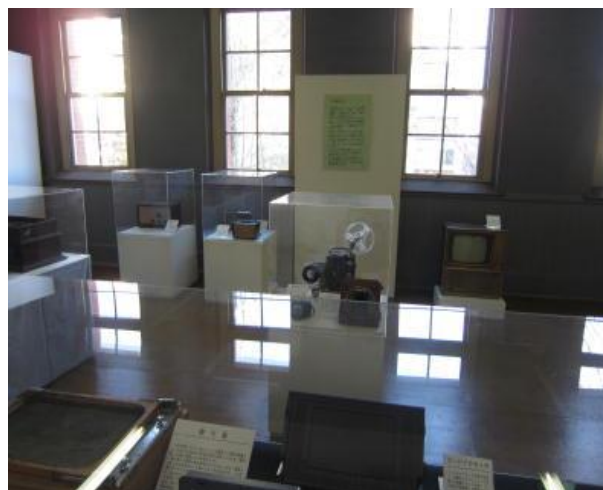
⑥絵葉書ものがたり

会場 長洲町金魚の館
開催期間 平成27年10月31日～11月30日
観覧者数 17,804人
展示点数 122点
展示概要 明治から昭和までの絵葉書を展示し、過去の出来事や景観等を現代の私たちに伝える絵葉書の歴史資料としての資料性を解説。併せて、近代熊本の出来事や風景を写した絵葉書を展示。
担当 田中 孝行、松本 晃世、堤 将太



⑦ちょっと昔の暮らし探検

会 場 熊本大学五高記念館
開催期間 平成 27 年 12 月 25 日～平成 28 年 2 月 22 日
観覧者数 1,435 人
展示点数 125 点
展示概要 企画展示「ちょっと昔の暮らし探検」を再構成して展示
特記事項 熊本大学の博物館実習 1 の授業の一環として、展示作業は受講学生が実施
担 当 國本 信夫、迫田 久美子



(5) 博物館ネットワークセンター通路展示

①石炭ってなあに？

展示期間 平成27年 4 月15日～平成27年 6 月14日
展示概要 かつて日本の産業を支えていた石炭について、何からどうやってできるのか、どんな種類があるのか、九州ではどこで産出していたのかなどを解説。

担 当 廣田志乃

＜展示資料＞

石炭、燐石（天然コークス）、珪化木、植物の葉の化石、炭化 木、炭質頁岩、どん（石炭に熱変成を与えた火成岩類）



②フンに集まるコガネムシ～フン虫の生活とその役割～

展示期間 平成27年 7 月15日～10月14日
展示概要 動物が排泄したフン（糞）を食糧とするコガネムシ類（フン虫）に焦点を当て、標本によって多様に種分化している事を示すと同時に、それぞれに異なるフン利用の方法を紹介し、フン虫の生態学的な役割を解説した。

担 当 小原 舞

＜展示資料＞

フチケマグソコガネ、オオフタホシマグソコガネ、ダイコクコガネ、カドマルエンマコガネ、センチコガネ、オオセンチコガネ



③日本の暦と明治の改暦

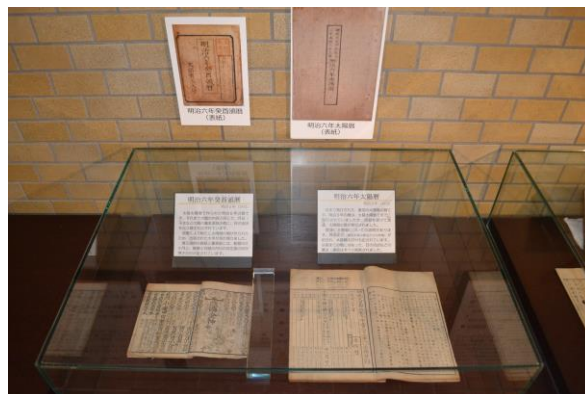
展示期間 平成27年10月15日～12月14日

展示概要 故森下功氏の旧蔵資料をもとに、日本の暦の概要を解説し、日本の暦が太陰太陽暦から太陽暦へと変わった明治5年（1872）の改暦について紹介。

担 当 松本晃世

＜展示資料＞

改暦弁（福沢諭吉著）、明治六年癸酉頒暦、明治六年太陽暦、御改正新暦早合点



④「熊本の自然と文化 ～熊本県博物館ネットワークセンターだより～」第32号 資料紹介

展示期間 平成27年12月15日～平成28年1月14日

展示概要 「熊本の自然と文化」第32号の収蔵資料紹介で取り上げた資料の実物等を展示し、紙面拡大パネルによる解説。

担 当 迫田久美子、小原舞、堤将太、前田哲弥、廣田志乃

＜展示資料＞

ひで鉢、アゲハ、日本赤十字社佛國派遣救護班勤務心得、ミジンコウキクサ、筆石（フデイシ）

⑤みんなで調べた！外来のツユクサ

展示期間 平成28年1月15日～3月14日

展示概要 近年、侵入と分布拡大が指摘された外来のツユクサ科植物カロライナツユクサについて、ミュージアムパートナーズクラブ雁回山の植物を観る会などの方々と、熊本県内における分布調査を行った。その成果を標本や地図と共に紹介。

担 当 前田哲弥

＜展示資料＞

カロライナツユクサ、ツユクサ、マルバツユクサ、アレチイボクサ



⑥「熊本の自然と文化 ～熊本県博物館ネットワークセンターだより～」第33号 資料紹介

展示期間 平成28年3月15日～4月14日

展示概要 「熊本の自然と文化」第33号の収蔵資料紹介で取り上げた資料の実物等を展示し、紙面拡大パネルによる解説。

担 当 廣田 志乃、迫田 久美子、小原 舞、松本 晃世、前田 哲弥

＜展示資料＞

石神山のザクロ石、湯たんぽ、ナガサキアゲハ、盆（豊福愛国国防婦人会）、ホンゴウソウ

2 情報発信活動

(1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

事業目的 県内の博物館の収蔵資料紹介や、人材データベースを提供し、県民の博物館活動への参加等を支援する（再掲）。

県内の自然や歴史、文化に関し見学・観察ができる場所とその解説を行い県民の興味・関心を高める。

博物館ネットワークセンターの様々な活動を掲載し、参加を促す。

平成27年10月より運用開始。

参加館等 16館、3市町村（平成28年3月31日現在）

U R L 熊本県総合博物館ネットワークポータルサイト
<http://kumamoto-museum.net/>



(2) 出版物

① 広報誌

タイトル 熊本の自然と文化 ～熊本県博物館ネットワークセンターだより～ No.32

発行日 平成27年10月15日

掲載内容 平成27年度夏休みキッズミュージアム開催報告
熊本県総合博物館ネットワークオープニング記念共同企画展案内他

資料紹介 ひで鉢（民俗）

資料紹介 アゲハ（動物）

資料紹介 日本赤十字社佛国派遣救護班勤務心得（歴史）

資料紹介 ミジンコウキクサ（植物）

資料紹介 筆石（地学）

タイトル 熊本の自然と文化 ～熊本県博物館ネットワークセンターだより～ No.33

発行日 平成27年12月25日

掲載内容 熊本県総合博物館ネットワークオープニング記念共同企画展開催報告

企画展示「雁開山、植物巡り」他案内

資料紹介 石神山のザクロ石（地学）

資料紹介 湯たんぽ（民俗）

資料紹介 ナガサキアゲハ（植物）

資料紹介 盆（豊福愛国国防婦人会）（歴史）

資料紹介 ホンゴウソウ（植物）

3 研修活動

(1) 総合プロデューサー育成研修

・目的

熊本県総合博物館ネットワークの構築に向け、高い企画能力を持ち、プロモーション活動や効果的な広報活動が行える総合プロデューサー的な能力を有する学芸員等の育成。

・研修計画

○第1回研修会「ICTを活用した博物館活動について」

日時 平成27年7月31日（金）13:00～15:00

場所 博物館ネットワークセンター

講師 早稲田システム開発株式会社代表取締役
内田剛史氏

内容 博物館活動の中で最も重要な業務である
所蔵資料の「保存と活用」について、IC
T活用による将来性について。

○第2回研修会「観光資源としての博物館」

日時 平成28年3月11日（金）10:00～12:00

場所 県庁本館1302会議室

講師 東海大学 観光ビジネス学科 観光資源管理研究室 教授 阿部正喜氏

内容 観光資源としての博物館の活用について、海外や国内の事例を紹介し、今後熊本県に所在する博物館の活用の方向性についての考察。



(2) スキルアップ研修

・目的

講座・実習を通し資料保存、展示技術、展示評価等の技能向上を図る。また、各博物館の取組の紹介や共同事業などに係る意見交換会をとおり、県内博物館の運営力向上を図る。

・研修計画

○第1回研修会「博物館環境について」

日時 平成27年7月31日（金）10:00～12:00

場所 博物館ネットワークセンター

講師 県立装飾古墳館学芸課長 坂口圭太郎氏

内容 県立装飾博物館で実施されている温湿度管理業務の内容についての説明を受け、その成果や問題点についての検証。

○第2回研修会「掛軸や巻子の取り扱いについて」

日時 平成27年11月27日（金）14:00～16:00

場所 博物館ネットワークセンター

講師 県立美術館学芸員 金子岳史氏

内容 県内歴史系の博物館に所蔵している一般的な掛軸や巻子の取り扱いについての実習。

○第3回研修会「生物被害と加害生物について」

日時 平成28年3月11日（金）13:00～15:20

場所 県庁本館1302会議室

講師 九州国立博物館博物館科学課環境保全室長 木川りか氏

内容 文化財の虫害対策についての講義、意見交換をとおした虫害対策の向上。



○意見交換会

日時 平成27年11月27日（金）13:00～14:00

場所 博物館ネットワークセンター

・事例報告

講師 博物館ネットワークセンター主幹 國本信夫

内容 平成28年～29年度熊本県総合博物館ネットワーク共同企画展「旅する巨人が歩いた熊本
～宮本常一の「あるく・みる・きく」～」について

・意見交換

テーマ 熊本県総合博物館ネットワーク共同企画展について

内容 各館の現状について（各館1～2分程度の報告）
共同企画展実施のための整備について、それぞれの館の、課題についての確認。

4 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 県内各地で行う家族向け自然観察会

①海辺の生き物を観察しよう

開催期日 平成27年6月14日
場 所 上天草市宮津海遊公園
参加人数 41人
概 要 上天草市大矢野の磯に見られる貝類を中心とした観察
講 師 松本達也氏
担 当 天野守哉、小原舞



②阿蘇の草花を観察しよう

開催期日 平成27年6月21日
場 所 南阿蘇ビジターセンター（阿蘇郡高森町）
参加人数 17人
概 要 阿蘇野草園を散策し、阿蘇の草原植物を観察
共 催 ミュージアムパートナーズクラブ南阿蘇の植物の会
担 当 稲葉一文、前田哲弥



③川原の石を観察しよう

開催期日 平成27年8月1日
場 所 津志田河川自然公園（甲佐町）
参加人数 22名
概 要 川原の石の種類や大きさの観察
担 当 川路芳弘 廣田志乃



④夏の星座を観察しよう

開催期日 平成27年8月8日
場 所 熊本県民天文台（熊本市南区城南町）
参加人数 67名
概 要 夏の大三角形などの観察、星座物語などの天体に関する講話。
講 師 艶島敬昭氏、中嶋尚氏、西嶋好美氏（熊本県民天文台職員）
担 当 川路芳弘、廣田志乃、國本信夫

⑤化石と地層を観察しよう

開催期日 平成27年8月11日
場 所 宇土半島（宇土市）、千巖山（上天草市）
参加人数 33名
概 要 地層の重なり方や化石などの観察
担 当 川路芳弘 廣田志乃



⑥阿蘇の草花を観察しよう

開催期日 平成27年9月19日
場 所 南阿蘇ビジターセンター（阿蘇郡高森町）
参加人数 26人
概 要 阿蘇野草園を散策し、阿蘇の草原植物を観察
共 催 ミュージアムパートナーズクラブ南阿蘇の植物の会
担 当 稲葉一文、前田哲弥



⑦月を観察して写真に撮ろう

開催期日 平成27年9月26日
場 所 熊本県民天文台（熊本市南区城南町）
参加人数 62名
概 要 月を観察し、望遠鏡を通して写真撮影。
講 師 中嶋尚氏、西嶋好美氏、高田祐一氏（熊本県民天文台職員）
担 当 川路芳弘、廣田志乃、田中孝行



⑧落ち葉図鑑を作ろう

開催期日 平成27年11月29日
場 所 肥後民家村（玉名郡和水町）
参加人数 59人
概 要 落ち葉を拾って観察し、落ち葉図鑑を作る。
共 催 和水町教育委員会
担 当 稲葉一文、前田哲弥



(2) 熊本を知る講座 熊本の自然や文化について学ぶ一般向けの講座

①熊本の祭りと行事

開催期日 平成 27 年 6 月～平成 28 年 3 月 毎月第 3 水曜日

会 場 益城町交流情報センター

主 催 益城町教育委員会 博物館ネットワークセンター

受講人数 105 人 (計 10 回)

趣 旨 熊本県内で行なわれる様々な祭りや行事について意味、内容、見所などを紹介する。

内 容

第 1 回	6 月 17 日	暦と祭り行事
第 2 回	7 月 15 日	春から夏の年中行事 1
第 3 回	8 月 19 日	春から夏の年中行事 2
第 4 回	9 月 16 日	秋から冬の年中行事 1
第 5 回	10 月 21 日	秋から冬の年中行事 2
第 6 回	11 月 18 日	春の祭りと夏の祭り
第 7 回	12 月 16 日	秋の祭り 1
第 8 回	1 月 20 日	秋の祭り 2
第 9 回	2 月 17 日	神楽
第 10 回	3 月 16 日	田楽と風流

担 当 國本信夫、迫田久美子



②暮らしの中の民俗学

開催期日 平成 27 年 6 月～平成 28 年 3 月 毎月第 2 金曜日

会 場 天草市天草文化交流館

主 催 天草市、博物館ネットワークセンター

受講人数 215 人 (計 10 回)

趣 旨 日ごろ何気なく行っている行事やしきたりなど、日ごろの暮らしを見つめ直し、これからの暮らしのあり方を考える。

内 容

6 月 12 日	暮らしのリズム	7 月 10 日	盆と正月
8 月 7 日	節供とは	9 月 11 日	人が生まれた時の儀礼
10 月 9 日	見合い? 恋愛?	11 月 13 日	家族の形
12 月 11 日	人が亡くなった時の儀礼	1 月 8 日	男と女の民俗学
2 月 12 日	ハレとケガレ 1	3 月 11 日	伝承文化とこれからの暮らし

担 当 國本信夫

③古文書入門講座

開催期日 平成27年 7月～平成28年2月 毎月第2土曜日
会 場 松島総合センターアロマ
主 催 上天草市教育委員会、博物館ネットワークセンター

受講人数 117人（計8回）
趣 旨 上天草市指定文化財の大庄屋吉田家文書や博物館ネットワークセンターが所蔵する歴史資料（古文書）を教材として活用し、受講者が本県の歴史や文化を再発見できる機会を提供することを目的とする。

使用資料 大庄屋吉田家文書「大矢野組大庄屋役申付」「御教諭書」ほか
担 当 田中孝行、松本晃世



④古文書読み解き講座

開催期日 平成27年6月～平成28年3月 毎月第1土曜日
会 場 博物館ネットワークセンター
受講人数 313人（計10回）
趣 旨 博物館ネットワークセンターが所蔵する「銀臺遺事」を教材として活用し、受講者が古文書に親しみながら基礎知識や基本的な読解力を身に付けることを目指す。

使用資料 「銀臺遺事（写）」（森下功旧蔵資料）
担 当 田中孝行、松本晃世



⑤貝類学講座

開催期日 平成27年6, 8, 10, 11, 12, 2月の第3土曜日
会 場 博物館ネットワークセンター、県内博物館等
受講人数 46人（計6回）
趣 旨 熊本県内に生息する貝類について見分け方や生息環境などを学び、貝について興味・関心を持ってもらう。
内 容
6月20日 講義「貝類分類の基礎」
8月15日 講義「熊本県の貝類調査研究の成果」
10月17日 御所浦白亜紀資料館の貝類化石資料について
11月21日 塚原歴史民俗資料館の貝類化石資料について
12月19日 御船町恐竜博物館の貝類化石資料について
2月20日 講義「まとめ」
講 師 松本達也氏
担 当 天野守哉、小原舞



⑥地学基礎講座

開催期日 平成27年6月～平成27年2月 毎月第4土曜日

会 場 博物館ネットワークセンター

受講人数 116人(計9回)

趣 旨 熊本県は、火山や古い時代の堆積岩や、プレートテクトニクスを説明できる堆積物などがあり、日本列島の成り立ちを知る資料が豊富にある。博物館ネットワークセンターの資料を基に化石を中心に熊本の大地の成り立ちを学び、地学に興味を持ってもらう。

担 当 川路芳弘

⑦天草の地質Ⅰ

開催期日 平成27年7月 第1, 2, 5木曜日

会 場 博物館ネットワークセンター・野外

受講人数 53人(計3回)

趣 旨 日本ジオパークに認定された天草地域のうち、上天草地域を3回に分けて座学と現地学習会を行い上天草地域の天草ジオパークを知ってもらう。

担 当 川路芳弘、廣田志乃



⑧天草の地質Ⅱ

開催期日 平成27年10月 第2, 4, 5木曜日

会 場 天草市民センター・野外

受講人数 38人(計3回)

趣 旨 日本ジオパークに認定された天草地域のうち、本渡地域を3回に分けて座学と現地学習会を行い本渡地域の天草ジオパークを知ってもらう。

担 当 川路芳弘、廣田志乃



⑨天草の地質Ⅲ

開催期日 平成27年11月 第1, 2, 4木曜日

会 場 天草市民センター・野外

受講人数 38人(計3回)

趣 旨 日本ジオパークに認定された天草地域のうち、苓北地域を3回に分けて座学と現地学習会を行い苓北地域の天草ジオパークを知ってもらう。

担 当 川路芳弘、廣田志乃



⑩天草の地質Ⅳ

開催期日 平成27年12月 第1, 2, 4木曜日

会 場 天草市民センター・野外

受講人数 33人(計2回)(第2木曜は、天候不順のため中止)

趣 旨 日本ジオパークに認定された天草地域のうち、牛深地域を3回に分けて座学と現地学習会を行い牛深地域の天草ジオパークを知ってもらう。

担 当 川路芳弘、廣田志乃

⑪ 植物基礎講座

開催期日 平成27年12月～平成28年3月の毎月第2日曜日

会 場 博物館ネットワークセンターとその周辺（多目的広場及び隣接する林）

受講人数 72人（計4回）

趣 旨 植物観察に必要な植物の形態や生態に関する知識や植物の標本の作り方、写真の撮り方等の技術を学び、植物に対し興味・関心を持ってもらう。

内 容 12月13日 講義：植物の形態と分類について

1月10日 実技：ルーペ（実態顕微鏡）による植物組織の観察と植物標本の作り方

2月14日 実技：植物の写真撮影（デジタルカメラ）について

3月13日 講義：熊本の植物について

担 当 稲葉一文、前田哲弥

（3）キッズミュージアム 楽しく遊びながら自然や伝統文化を体験する子ども向けプログラム

主 催 博物館ネットワークセンター、ミュージアムパートナーズクラブ

会 場 博物館ネットワークセンター

開催期日 平成27年7月18日～20日

参加者数 457人（18日 130人、19日 166人、20日 161人）

（体験プログラム）

7月18日 石臼できなこをつくろう、化石のペンダントをつくろう、親子で拓本にチャレンジ、昔のおもちゃをつくろう、鉱物万華鏡をつくろう、空飛ぶ種子をつくろう

7月19日 草木染めのハンカチ、昆虫採集をしよう、古銭レプリカをつくろう、渋染めのエコバック、貝で工作をしよう、和綴じノートをつくろう

7月20日 化石レプリカをつくろう、ドングリクラフトをしよう、葉脈しおりをつくろう、琥珀ペンダントをつくろう、セミの抜け殻探し



貝で工作をしよう



親子で拓本にチャレンジ



鉱物万華鏡をつくろう



渋染めのエコバック



ドングリクラフトをしよう



石臼できなこをつくろう

(4) 移動体験教室・講師派遣

① 移動体験教室

6月13日	熊本市立桜木東小学校PTA（草木染め、42人）
7月2日	阿蘇市立内牧小学校PTA（葉脈標本、36人）
7月11日	南阿蘇村立南阿蘇西小学校PTA（石臼きなこ、22人）
7月28日	熊本市立田底小学校PTA（化石レプリカ、40人）
8月2日	吉野こども会（葉脈標本、15人）
8月4日	松橋第2学童保育所（石臼きなこ、59人）
8月5日	熊本市立高橋小学校PTA （貝クラフト、15人）
8月9日	宇土市立走潟小学校PTA （石臼きなこ、41人）
8月30日	大津町立大津小学校PTA （葉脈標本、42人）
9月20日	宇土市立宇土小学校PTA （貝クラフト、35人）
10月20日	阿蘇市立山田小学校PTA （葉脈標本、20人）
11月14日	玉名市立築山小学校PTA （化石レプリカ、162人）
11月15日	松崎第一町内仲良しクラブ（化石レプリカ、128人）
11月29日	益城町立広安小学校PTA（石臼きなこ、71人）
2月7日	宇城市子ども会（石臼きなこ、7人）



② 講師派遣

6月21日	熊本博物館シンポジウム （國本信夫、55人）
7月3日	熊本大学博物館教育論授業 （國本信夫、47人）
8月16日	夏休み自由研究スーパー相談会 阿蘇火 山博物館（川路芳弘、27人）
8月17日	人吉球磨理科学研究会（川路芳弘、12人）
8月25日	熊本県出前講座 九州学院中学校 （川路芳弘、115人）
11月1日	宇城市立当尾小学校（川路芳弘、廣田志乃、160人）
11月1日	くまもと県民カレッジ（天野守哉、29人）
2月20日	熊本市立城南図書館（稲葉、前田哲弥、12人）
1月25日	熊本市立日吉東小学校3年社会科授業（國本信夫、迫田久美子、80人）
1月26日	熊本市立日吉小学校3年社会科授業（國本信夫、迫田久美子、80人）
1月26日	熊本大学博物館経営論授業（國本信夫、54人）
2月3日	宇城市立青海小学校3年社会科授業（國本信夫、迫田久美子、11人）
2月5日	宇城市立豊川小学校3年社会科授業（國本信夫、迫田久美子、40人）
2月6～7日	九州高等学校生徒理科研究発表大会（川路芳弘、300人）
2月16日	宇城市立松橋小学校3年社会科授業（國本信夫、迫田久美子、93人）



(5) 団体利用

7月2日	中学校理科実践研究研修 県教育センター（7人）
8月4日	高等学校生物・地学初任者・5年目研修（5人）
8月6日	高等学校実習教諭研修（18人）
8月12日	高等学校生物・地学初任者・5年目研修（4人）
8月18日	熊本大学博物館見学（38人）
8月20日	熊本大学博物館見学（38人）
9月2．3日	県立宇土中学校インターシップ（8人）
9月8～15日	熊本大学博物館実習（10人）
10月7日	県立松橋東支援学校職場見学（15人）
10月15日	宇土市立宇土小学校展示見学・体験学習（131人）
10月18日	熊本記念植物採集会標本持寄会（15人）
10月22日	宇城市立小川小学校展示見学・体験学習（30人）
10月25日	宇城市立三角小小学校展示見学・体験学習（36人）
10月28日	あさぎり町立上小学校展示見学・体験学習（30人）
11月24日	宇城市立当尾小学校3-1展示見学・体験学習（38人）
11月26日	八代市立麦島小展示見学・体験学習(81人)
11月27日	宇城市立当尾小学校3-2展示見学・体験学習（38人）
11月27日	高校生物部会冬季研修会（68人）
1月21日	宇城市立豊福小学校展示見学・体験学習（28人）
1月21日	宇城市立小野部田小学校展示見学・体験学習（17人）
2月9日	宇城市立不知火小学校展示見学・体験学習（57人）
2月9日	宇城市立松合小学校展示見学・体験学習（11人）
2月18日	宇城市小中学校校長会展示見学・研修会（32人）
2月26日	美里町立励徳小学校展示見学・体験学習（10人）



(6) 博物館実習・職場体験

① 博物館実習

期 間 平成 27 年 9 月 8 日～15 日

受入学生 熊本大学 1 人、同志社大学 1 人

実習内容

- 8 日（火） オリエンテーション、バックヤード見学（歴史分野・地学分野）
資料写真撮影実習
- 9 日（水） バックヤード見学（植物・動物）、 民俗資料整理登録業務実習
- 10 日（木） 民俗資料整理登録業務実習、展示内容説明、展示実習（展示資料移動）
- 11 日（金） 展示実習（資料移動・列品作業）
展示実習（列品作業）
- 12 日（土） 展示実習（列品作業）、学習支援活動実習（ミュージアムパートナーズクラブ「草木染めの会」参加）
- 14 日（月） 展示実習（列品作業）
展示実習（列品作業）
- 15 日（火） 展示実習（証明作業）

② 職場体験

期 間 平成 27 年 9 月 2 日（水）～3 日（木）

受入学生 熊本県立宇土中学校 2 年生 2 人

実習内容 筆箱を活用した模擬展示体験



（７）熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度

概 要 熊本県内の自然や文化に興味・関心を持ち、博物館ネットワークセンターと協働した「県民参加型の博物館活動」に主体的に携わる意志がある方を対象とした登録制度。

登録説明会 平成27年5月23日（土曜日） 参加13人

登録者数 82人

（８）熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ

活動概要 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーにより組織された活動団体として、各活動クラブに分かれて活動している。博物館ネットワークセンターとの協働により熊本県内の自然や文化の調査研究及び学習支援、情報発信等の活動を行っている。

活動内容 4月18日 第1回連絡会
5月23日 第2回連絡会
5月24日 平成27年度総会
7月18日 キッズミュージアム共催（～20日）

（活動クラブ）

①草木染めの会

活動人数 14人
活動日 毎月第2土曜日
活動内容 熊本の植物を使つての草木染め実践
藍の栽培と藍染め実践
キッズミュージアム「草木染め」運営



②雁回山の植物を観る会

活動人数 16人
活動日 毎月第2木曜日
活動内容 雁回山の植物相調査
雁回山の植物標本の作成
キッズミュージアムの運営



③南阿蘇植物の会

活動人数 10人
活動日 毎月第2火曜日
活動内容 阿蘇野草園やその周辺に自生する野生植物の観察及び標本の作成
標本や写真を使った企画展示の開催
キッズミュージアムの運営

④地学研究会

活動人数 6人
活動日 毎週水・金曜日
活動内容 博物館ネットワークセンターの岩石・鉱物・化石の同定

⑤阿蘇火山調査会

活動人数 14人

活動日 毎月第3木曜日

活動内容 阿蘇火山博物館との協働による外輪山の地質調査

⑥松橋地域史調査クラブ

活動人数 7人

活動日 毎月第1土曜日

活動内容 秋岡家文書「文化七年覚帳」（宇城市所蔵）の読解

⑦阿蘇文化調査研究会

活動人数 12人

活動日 奇数月第4木曜日

活動内容 阿蘇の歴史文化に関する調査研究

⑧くまもとの大地の成り立ち

活動人数 25人

活動日 偶数月第1日曜日

活動内容 熊本県下の地質現象がよくわかる場所での学習会および、サンプル収集。

⑨貝類調べ隊

活動人数 14人

活動日 毎月第3土曜日

活動内容 熊本県内に生息する貝類の調査研究

⑩シダを楽しむ会

活動人数 7人

活動日 毎月第1土曜日

活動内容 雁回山に自生するシダ植物の調査研究

⑪交流支援クラブ

活動人数 4人

活動日 毎月第1・3火曜日

活動内容 ミュージアムパートナーズクラブ総会や連絡会の準備
ミュージアムトークや展示解説会等の会員交流イベントの企画運営

（ミュージアムパートナー交流イベント）

4/21	展示解説	小原舞	4人
5/19	展示解説	田中孝行	5人
6/16	阿蘇の植物	稲葉一文	5人
7/21	キッズミュージアム		
8/18	展示解説	廣田志乃	4人
9/15	フン虫の生活	小原舞	4人
10/20	展示解説	迫田久美子	5人
11/17	アンモナイト	川路芳弘	7人
12/15	暦について	松本晃世	8人



1/19	熊本の哺乳類	天野守哉	5人
2/16	展示解説	前田哲弥	6人
3/15	猿の民俗	迫田久美子	2人



(9) 学校移動展示用パッケージ作成

自然に興味関心を持ってもらうため、博物館ネットワークセンターにある実物資料を、学校の教育課程と重ね合わせ学校現場で活用できるよう、現場の教員の意見を聞きながら作成した移動展示用パッケージ。

①小学校理科

「熊本のさまざまな石」

石材や、産業として使用された石や、学校で履修する石などを、熊本を11の地域に分けそれぞれ の地域を代表する石としパッケージ化し、岩石について興味を持てるようにしたものを11セット作成。

主な資料：石炭、竹葉石（国会議事堂に使われている石）、化石、石灰岩、砂岩、花崗岩



②中学校理科

「熊本の植物」

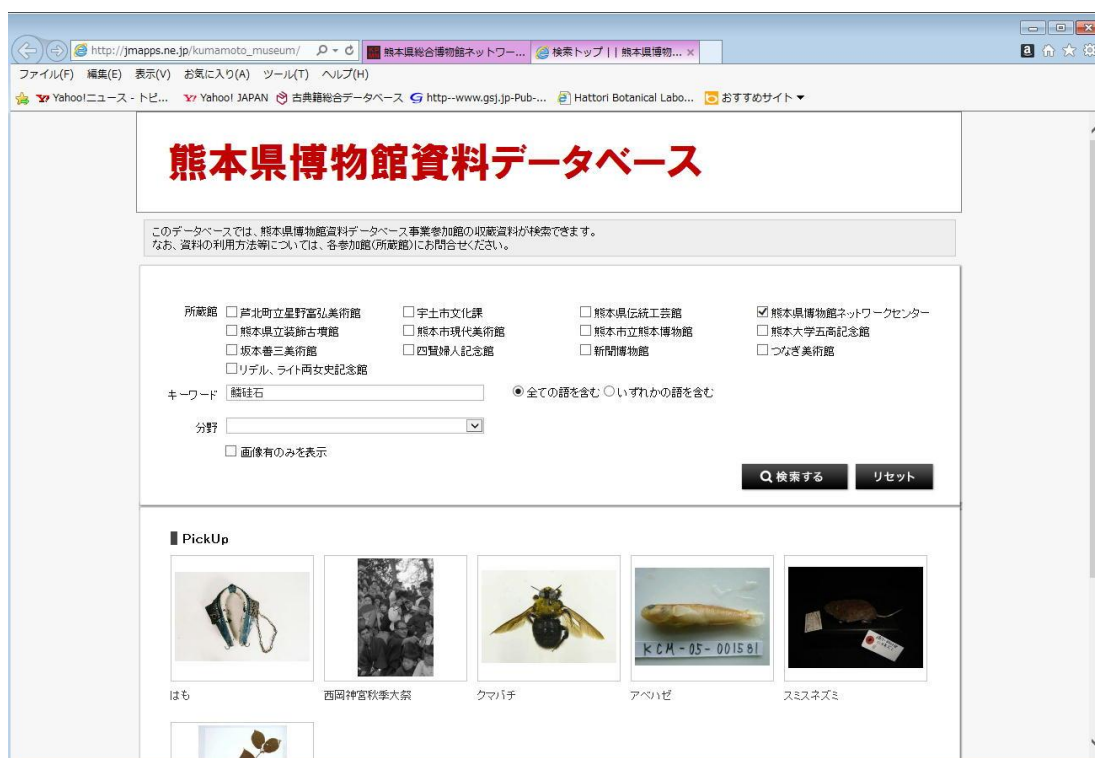
熊本に生育する植物を11の地域に分けてそれぞれ8種ずつパネルで紹介し、併せて各地域から1種ずつ標本をケースに入れて展示できるようにした。さらに全種について、生育環境や形態的特徴、分布等を解説した冊子を作成した。



5 資料収集整理活動

(1) 熊本県博物館資料データベース事業

- 事業目的** 熊本県内の博物館等が収蔵する博物館資料をデータベース化し、熊本県総合博物館ネットワークポータルサイトを通じて資料データの共有化を図り、参加館が、互いの資料の活用を図られるよう支援。
- 事業内容** 収蔵資料管理システム、資料情報公開システム及びポータルサイトの構築
上記システムの運用開始（平成27年10月）
上記システムの操作研修
- 参加館等** 16館、3市町村、資料登録件数は338,278件（平成28年3月31日現在）
- URL** 熊本県総合博物館ネットワークポータルサイト
<http://kumamoto-museum.net/>



(2) 熊本県学芸員等人材データベース事業

事業目的	熊本県内の博物館・資料館等に所属する学芸員、県・市町村教育委員会の文化行政担当者、学校教職員等が有する専門的な知識や技術の調査を行い、その情報をもとにデータベースを作成し、博物館等における調査研究、展示及び講演会等の博物館活動の充実を図る。
事業内容	熊本県学芸員等人材データベースの作成及び関係機関への配付 熊本県学芸員等人材データベース（web版）の作成及び公開（平成27年10月）
登録者数	133人（平成28年3月31日現在）
U R L	熊本県学芸員等人材データベース（web版）公開ページ

<http://kumamoto-museum.net/human>

The screenshot shows a web browser window with the URL http://kumamoto-museum.net/human_view. The page title is "熊本県内学芸員等人材データベース一覧" (List of Human Resources Database in Kumamoto Prefecture). Below the title is a red search bar with the text "熊本県内学芸員等人材データベース検索". The main content area contains instructions: "地域と専門分野のチェックボックスにチェックを入れて絞り込み検索を行うことができます。" (You can perform a filtered search by checking the checkboxes for region and specialty.) and "チェックを入れて、下の「検索する」ボタンを押してください。※複数選択も可能です。" (Check the checkboxes and press the "Search" button below. ※Multiple selections are also possible.). There are two sections for selection: "地域選択" (Region Selection) and "専門分野選択" (Specialty Selection). The "地域選択" section lists 14 locations with checkboxes: 熊本市, 人吉市, 玉名市, 山鹿市, 宇土市, 宇城市, 天草市, 合志市, 山鹿市, 和水町, 大津町, 高森町, 南阿蘇村, 御船町, 氷川町, 錦町. The "専門分野選択" section lists 9 specialties with checkboxes: 考古, 歴史, 植物, 地質, 民俗, 動物, 美術, 保存, その他. At the bottom left is a black button with white text "検索する" (Search). At the bottom right is a grey button with a white upward arrow.

(3) 資料収集・整理状況 平成28年3月31日現在

① 動物分野

資料収蔵点数

コレクション名	資料点数(概数)
立志徹郎氏寄贈貝類標本	57,500
河川水辺の国勢調査成果品	1,000
入江氏委託動物標本	900
入江切手コレクション	3,000
宇土高校寄贈液浸標本	100
済々黌高校寄贈液浸標本	2,500
熊本大学教育学部寄贈液浸標本	500
その他	12,400
合計	77,800

平成27年度の受入資料

熊本西高等学校寄贈鳥類液浸標本	13点
東稜高等学校寄贈液浸標本	30点
熊本県鳥獣保護センター資料	53点

資料登録点数

分類群	乾燥(剥製等)	液浸	計
NB11(哺乳類)	261	103	364
NB12(鳥類)	989	1	990
NB13(両生・爬虫類)	19	297	316
NB14(魚類)	56	3559	3615
NB15(昆虫類)	5535	406	5941
NB16(多足類)	7	882	889
NB17(甲殻類)	9	904	913
NB18(軟体動物)	12183	342	12525
NB19(その他分類群)	9	28	37
合計	19068	6522	25590

平成27年度の主な整理登録作業

冷凍鳥獣受入、剥製作製及び登録
 乾燥昆虫標本作製及び登録
 立志貝類標本登録、収納及び複標本分類整理

② 植物分野

資料収蔵点数 約 260,000 点

登録点数（平成 27 年度登録点数）

分類群	全登録点数	平成27年度登録点数
NB2（植物）	184,600	12,265
NB3（菌類）	2,395	0
NB4（藻類）	778	13
合計	187,773	12,278

平成 27 年度受入資料

ミュージアムパートナーズクラブ雁回山の植物を観る会 63 点、ミュージアムパートナーズクラブ南阿蘇植物の会 203 点

平成 27 年度の主な整理登録作業

ミュージアムパートナーズクラブ「雁回山の植物を観る会」および「南阿蘇植物の会」採集標本、個人寄贈標本（吉田喜久子氏、甲斐数美氏、高橋泉氏、今江正知氏、山下桂造氏、山城學氏、中下雅子氏、東矢力也氏、入江照雄氏、馬場美代子氏）、熊本記念植物採集会標本、熊本大学標本、県立第一高校標本、鎮西中学校標本、職員製作標本の登録・配架作業

③ 地質分野

資料収蔵点数

コレクション名	資料点数（概数）
今西茂標本	1,500
長谷義隆標本	10,000
アトラス熊本標本	174
荒尾宏岩石標本	200
熊本大学理学部地学科進級論文標本	4,700
河野通幸化石標本	217
岩崎泰穎標本	6,500
津末昭生標本	4,300
熊本大学工学部標本	10,000
熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本	5,300
村田正文標本	1,100
遠藤誠道植物化石標本	600
斉藤林次標本	200
早田幸作標本	200
千藤忠昌標本	1,300
植田和男標本	100
フェイス女学院松本唯一標本	270
桂輝雄標本	100
その他（少数寄贈、職員製作など）	200
合計	46,961

登録点数

大分類	小分類	登録点数（概数）
岩石	堆積岩	4,074
	火成岩	4,538
	変成岩	1,362
	その他	1,505
鉱物・鉱石	元素鉱物	323
	硫化鉱物	953
	ハロゲン化鉱物	113
	酸化・水酸化鉱物	1,130
	炭酸塩・硝酸塩・ホウ酸塩鉱物	508
	硫酸塩・タングステン酸塩鉱物	331
	リン酸塩・ヒ酸塩・バナジン酸塩鉱物	191
	珪酸塩鉱物	1,497
	その他	285
植物化石	被子植物	462
	裸子植物	96
	シダ植物	44
	その他	139
動物化石	脊椎動物	96
	原索動物	4
	棘皮動物	99
	節足動物	54
	軟体動物	2,558
	腕足動物	103
	刺胞動物	97
動物化石	その他	63
微化石	動物	83
	植物	4
現生	動物	1,410
	植物	3
その他	その他	2
	合計	22,127

平成 27 年度の主な整理登録作業

熊本大学理学部卒業論文・修士論文標本の整理・登録

岩崎泰頼標本の整理済分の登録

今西茂標本の整理済分の登録

斉藤林次標本の整理済分の登録

長谷義隆標本の整理済分の登録

展示など使用標本の登録

④ 歴史分野

資料収蔵点数及び登録点数

コレクション名	資料点数	登録点数
熊本市辛島家資料	23,393	1,000
鏡町下山家資料	2,977	0
渡邊祥隆寄贈資料	1	1
不知火町直江家資料	43	43
嘉島町安藤家資料	769	769
牛深市浜田家資料	140	0
齊藤俊三収集資料	1,071	0
高森町久々宮家資料	34	34
高森町瀬井家資料	541	541
西崎俊秋寄贈資料	204	0
熊本市猿渡家資料	1,021	1,021
三角千代子寄贈資料	6	0
高村勇三収集資料	1,480	0
坂口雅流収集資料	1,656	0
吉倉眞収集資料	17	17
高森町安藤家資料	622	622
森下功旧蔵資料	1,142	1,142
福田巧旧蔵資料	18	18
甲斐英子寄贈資料	18	18
田口幸宗寄贈資料	150	0
岩永武男寄贈資料	913	0
松本達也寄贈資料	8	8
西山佳代寄贈資料	6	6
東アサオ旧蔵資料	8	8
手島清土寄贈資料	1	1
八代市竹田家資料	1,660	1,060
池部美恵子寄贈資料	5	5
森内千佐寄贈資料	1	1
高須恒男寄贈資料	6	6
熊本市米村家資料	400	0
村井眞輝寄贈資料	1	1
大野恵子寄贈資料	2	2
緒方満寄贈資料	39	39
太田喜一郎寄贈資料	2	2
廣吉秀澄寄贈資料	6	6
質地証文類	300	0
宇城市坂口家資料	6	6
熊本市本田家資料	36	36
岡本敬喜寄贈資料	2	2
岩成邦忠寄贈資料	1	1
美當一調関連資料	191	191
熊本県文化課収集生産具	5	5

松原ルミ子寄贈資料	3	3
米村靖雄関係資料	31	31
井手和洋寄贈資料	2	0
合志市齋藤家資料	922	0
熊本私立測量学校関係資料	124	0
その他（購入等）	11	11
合計	39,995	6,657

平成27年度受入資料

合志市齋藤家資料（古文書）	922点
熊本私立測量学校関係資料（測量器具、書籍等）	124点

平成27年度の主な整理登録作業

熊本市辛島家資料の整理台帳作成
 八代市竹田家資料、購入資料の整理・登録
 一部資料のマイクロフィルム化及びデジタル化

⑤ 民俗分野

資料収蔵点数及び登録点数

大分類	小分類	資料点数	登録点数
衣食住	衣	590	222
	食	893	579
	住	383	236
生産生業	自然物採集	23	17
	農業	690	681
	山樵	132	126
	採鉱・冶金	11	11
	漁撈・製塩	141	139
	狩猟	10	10
	養蚕・牧畜	186	186
	繊維	82	82
	諸職・手工芸	390	385
社会	社会	41	19
交通交易	交通	195	147
	交易	110	73
信仰	神社	9	9
	寺院	47	47
	民間信仰	30	25
民俗知識	教育	112	35
	医療	40	21
	暦	8	5
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	0	0
	娯楽	411	55

儀礼	年中行事 人生儀礼	56	49
		40	37
小計		4,630	3,196
写真資料		154,400	34,804
合計		159,030	38,000

平成 27 年度受入資料

生活用品 18 点

平成 27 年度の主な整理登録作業

民具資料 6 点、写真資料 11,738 点

6 資料

(1) 平成27年度職員一覧

所長	松尾伸吾
課長補佐	本岩義幸
主幹	國本信夫 (民俗)
参事	天野守哉 (動物)
参事	川路芳弘 (地質)
参事	稲葉一文 (植物)
参事	田中孝行 (歴史)
博物館活動嘱託	迫田久美子 (民俗)
博物館活動嘱託	前田哲弥 (植物)
博物館活動嘱託	廣田志乃 (地質)
博物館活動嘱託	松本晃世 (歴史)
博物館活動嘱託	小原舞 (動物)
資料整理嘱託	安田晶子 (植物)
資料整理嘱託	堤将太 (歴史)
資料整理補助嘱託	並木史郎
資料整理補助嘱託	中野ゆり

(2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例

○熊本県博物館ネットワークセンター条例

(平成 27 年 3 月 20 日条例第 10 号)

熊本県博物館ネットワークセンター条例をここに公布する。

熊本県博物館ネットワークセンター条例

(設置)

第 1 条 県内の他の博物館等（博物館及び学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する機関又は団体をいう。以下同じ。）との連携の下、本県の自然、歴史等に関する情報の収集等を行い、これによって得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること等により、県民の生涯学習の機会を増大させ、もって県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、熊本県博物館ネットワークセンター（以下「ネットワークセンター」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 ネットワークセンターは、宇城市に置く。

(業務)

第 3 条 ネットワークセンターは、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 県内の他の博物館等との連携体制の構築に関すること。
- (2) 自然、歴史等に関する資料の収集を行うこと。
- (3) 前号に掲げる業務により収集した資料の整理保管及び調査研究を行うこと。
- (4) 前 2 号に掲げる業務により得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること。
- (5) 多目的広場及び多目的広場管理棟会議室（以下「多目的広場等」という。）を提供すること。
- (6) 県内の他の博物館等の活動の支援に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、第 1 条に規定する目的を達成するために必要な業務

[\[第 1 条\]](#)

(職員)

第 4 条 ネットワークセンターに、所長及び必要な職員を置く。

(休館日)

第 5 条 ネットワークセンターの休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条の規定により休日とされる日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、その日以後の休日以外の最初の日）

[\[国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条\]](#)

- (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで（前号に該当する日を除く。）

2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の休館日を変更し、又は別に休館日を定めることができる。

(開館時間)

第 6 条 ネットワークセンターの開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の開館時間を変更することができる。

(使用の許可)

第 7 条 多目的広場等を独占して使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

2 知事は、前項の許可をする場合において、管理上必要な条件を付することができる。

(使用の許可の基準)

第8条 知事は、前条第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) ネットワークセンターにおける公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) ネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) その使用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。

〔暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号〕

- (4) その他使用させることがネットワークセンターの管理上支障があると認められるとき。

（許可の取消し等）

第9条 知事は、第7条第1項の許可を受けた者（次条第1項において「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は管理上支障があると認めるときは、第7条第1項の許可を取り消し、若しくは変更し、又は多目的広場等の使用を停止させることができる。

〔第7条第1項〕〔第7条第1項〕

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 第7条第2項の規定により付された許可の条件に違反したとき。

〔第7条第2項〕

- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。
- (4) 前条第3号に該当することとなったとき。

（使用料）

第10条 使用者は、別表に定める額を使用料として納めなければならない。

〔別表〕

- 2 前項の使用料（以下「使用料」という。）は、前納とする。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。
- 3 既納の使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（使用料の減免）

第11条 知事は、特別の事情があると認めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。

（指定管理者による管理）

第12条 ネットワークセンター（多目的広場等に限る。以下この条から第15条までにおいて同じ。）の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

〔地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項〕

- 2 前項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条及び第6条の規定にかかわらず、当該指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、ネットワークセンターの休館日を変更し、若しくは別に定め、又は開館時間を変更することができる。

〔第5条〕〔第6条〕

- 3 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合における第7条から第9条までの規定の適用については、これらの規定中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。

〔第7条〕〔第9条〕

- 4 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前にされた第7条第1項（前項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可の申請は、当該指定管理者にされた許可の申請とみなす。

[\[第7条第1項\]](#)

- 5 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前に第7条第1項（第3項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可を受けている者は、当該指定管理者の許可を受けた者とみなす。

[\[第7条第1項\]](#)

(指定管理者の業務)

第13条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第3条第5号に掲げる業務

[\[第3条第5号\]](#)

- (2) 第7条第1項の許可に関する業務

[\[第7条第1項\]](#)

- (3) ネットワークセンターの維持管理及び修繕に関する業務

- (4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者がネットワークセンターの管理上必要と認める業務
(利用料金)

第14条 第10条第1項の規定にかかわらず、第12条第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合には、前条各号に掲げる業務のほか、当該指定管理者にネットワークセンターの利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を収受させることができる。

[\[第10条第1項\]](#) [\[第12条第1項\]](#)

- 2 利用料金の額は、別表に定める額に1.3を乗じて得た額を上限として、指定管理者が知事の承認を得て定める額とする。

[\[別表\]](#)

- 3 指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得て定めた基準により、利用料金の減免又は還付をすることができる。

(原状回復義務)

第15条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は地方自治法第244条の2第11項の規定によりその指定を取り消され、若しくは期間を定めてネットワークセンターの管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなったネットワークセンターの施設及び設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

[\[地方自治法第244条の2第11項\]](#)

(損害賠償)

第16条 故意又は過失によりネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、損害賠償義務の全部又は一部を免除することができる。

(雑則)

第17条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(罰則)

第18条 詐欺その他不正の行為により使用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料に処する。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第3条第5号、第7条から第15条まで、第18条及び別表の規定は、平成27年10月1日から施行する。

別表(第10条、第14条関係)

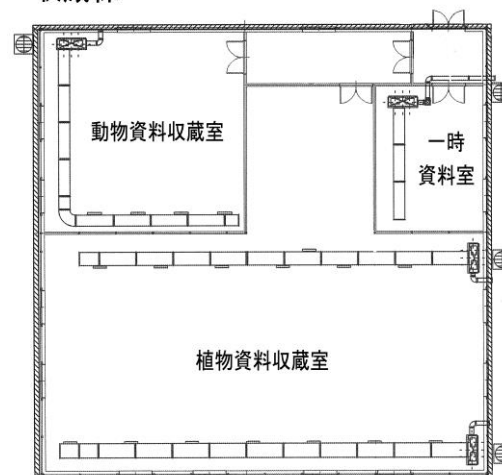
区分	単位	金額
多目的広場	東面 1時間につき	700円
	西面 1時間につき	800円
多目的広場管理棟会議室 1時間につき		100円

備考 使用する時間に1時間未満の端数があるときは、その端数を1時間とみなす。

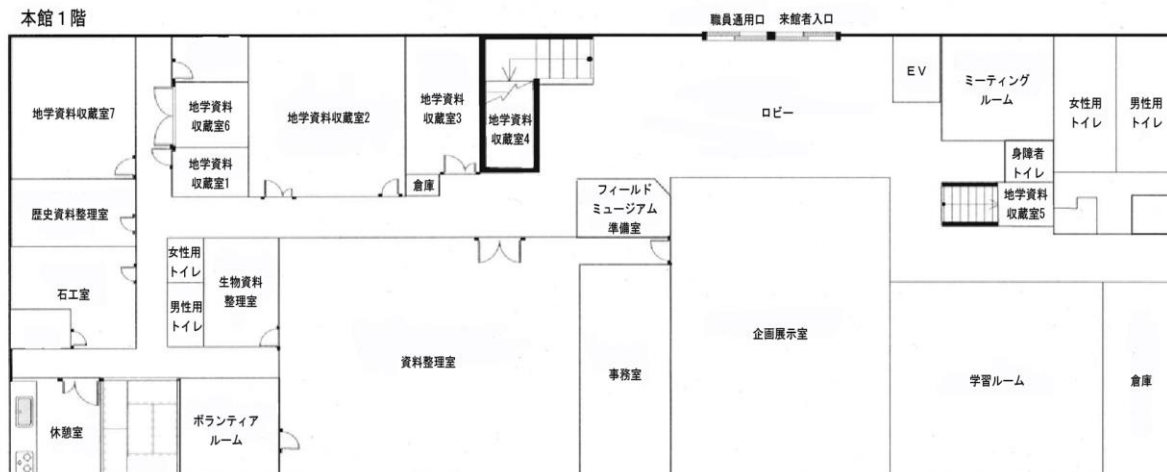
(3) 施設平面図

敷地概要	所 在	宇城市松橋町豊福 1695
	面 積	61,917.40 m ²
建物概要	本 館	構 造 RC 造 2 階建
		建築面積 1643.30 m ²
		延床面積 2889.27 m ²
	収蔵棟	構 造 RC 造平屋建
		建築面積 493.63 m ²
		延床面積 480.26 m ²

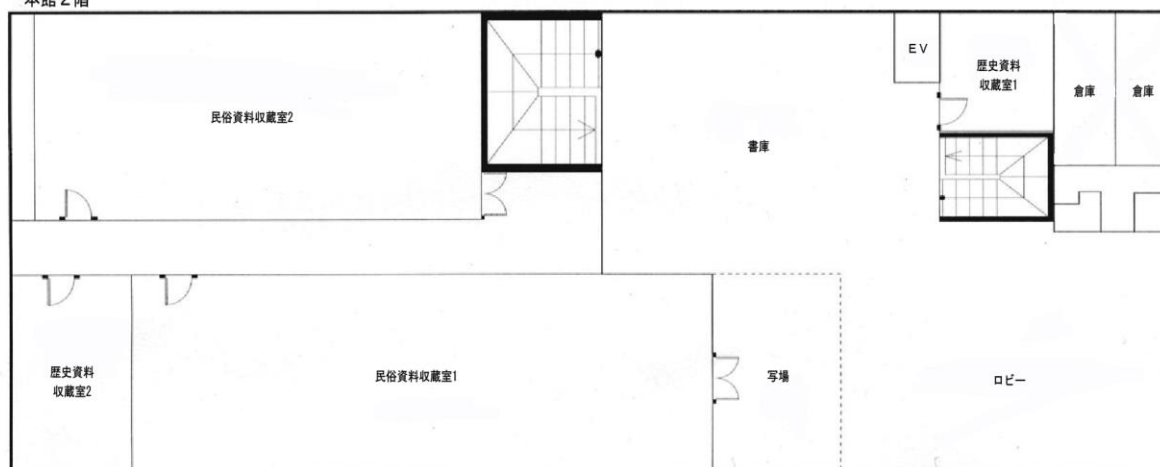
収蔵棟



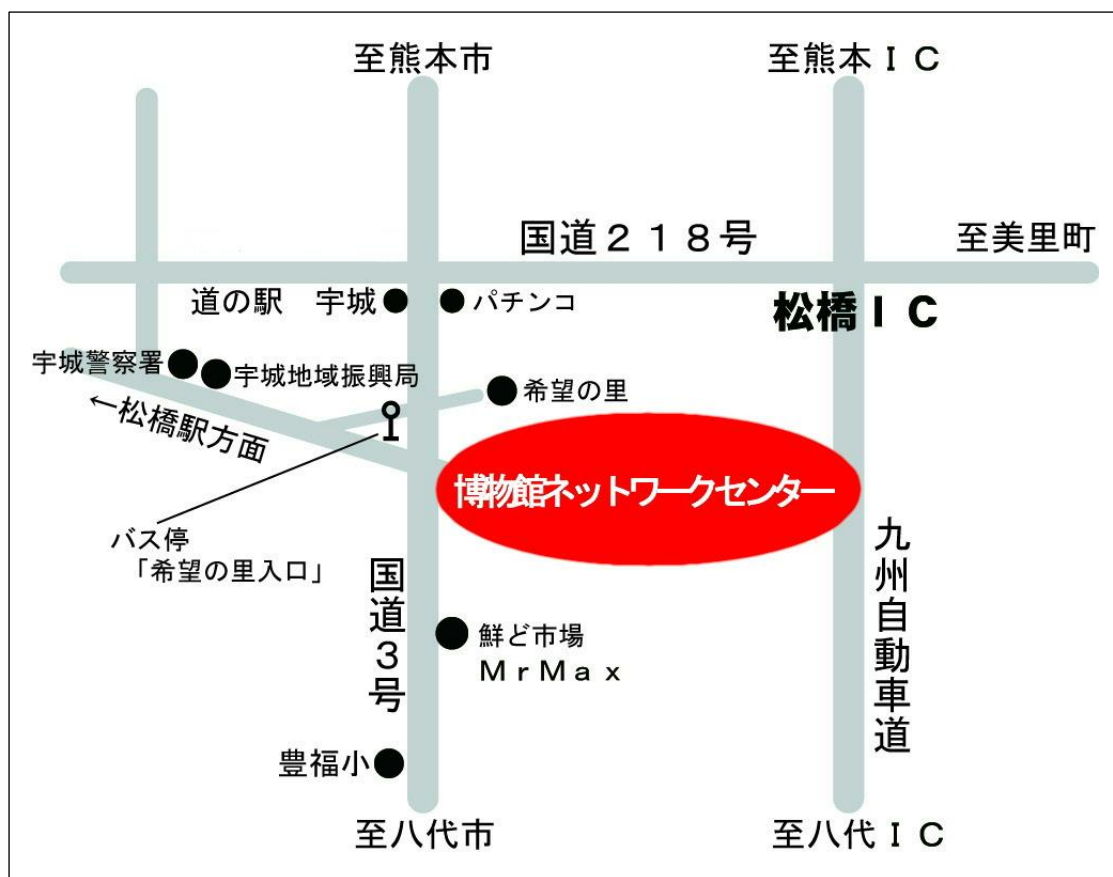
本館 1 階



本館 2 階



【熊本県博物館ネットワークセンターのご案内】



開館時間	午前9時～午後5時
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）
交通案内	九州産交バス「希望の里入口」下車 徒歩3分 JR 松橋駅より約3km
U R L	http://kumamoto-museum.net/kmnc/
E - m a i l	hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

平成27年度 熊本県博物館ネットワークセンター活動報告書

編集・発行	熊本県博物館ネットワークセンター 〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1695 電話（0964）34-3301
発行日	平成28年9月15日
